



看護 とちぎ



日光市 「竜頭ノ滝」

CONTENTS

- 2 栃看協、県へ要望書を提出
- 3 平成30年度公益社団法人栃木県看護協会役員・職能委員・推薦委員並びに平成31年度日本看護協会通常総会の代議員及び予備代議員の公募について
- 4 研修報告
- 5 平成29年度 栃木県・大田原市防災訓練に参加して
- 6 看護協会医療安全活動報告
- 8 ふれあい看護体験2017
- 9 こんな活動しています シリーズ⑬
- 10 私の職場の好きなところ シリーズ④⑧



会員数 10,774人 (H29.9.30現在)



栃看協、県へ要望書を提出



栃木県看護協会の渡邊カヨ子会長は8月29日、栃木県庁を訪れ、「看護政策に関する要望書」を山本圭子県保健福祉部長に提出し、支援をお願いしました。

2018（平成30）年度、団塊の世代が75歳以上となる「2025年問題」に向けた地域包括ケアシステム構築の節目の年となります。当協会は看護職の養成及び人材育成と地域包括ケアシステム構築に向け様々な事業に取り組んでいますが、超少子・超高齢・多死社会の到来を控えた社会の要請に応えるため、これまでも増して看護職の資質向上や看護の体制整備、人材確保などの支援を県に要望しました。

要望会場には県保健福祉部からは山本部長をはじめ森澤・小竹両次長、医療政策課長が出席して、要望について活発な意見交換が行われました。当協会からは渡邊会長をはじめ鱒淵専務理事、馬込常任理事、山根事務局長が出席しました。要望事項の概要は次の通りです。

〔看護政策に関する要望事項〕

- 1. 看護職の養成及び人材育成に関する事項**
 - (1) 看護職の教育研修事業への継続支援
 - (2) 助産師相互研修事業の継続支援
 - (3) 看護師の就学支援制度の拡大
 - (4) 看護師基礎教育の4年制化の推進
- 2. 看護職員の確保・定着、勤務環境改善対策に関する事項**
 - (1) ワーク・ライフ・バランス（WLB）推進事業の継続支援
 - (2) プラチナナース活用のための基礎整備の支援
- 3. 地域包括ケアシステム構築と推進に関する事項**
 - (1) 特定行為に係る看護師の研修制度の推進
 - (2) 訪問看護事業所の機能強化型取得の支援
 - (3) 地域での多職種連携事業の推進
 - (4) 保健師の人材育成と確保



山本圭子県保健福祉部長（左から2人目）に要望書を手渡す渡邊カヨ子会長（左から3人目）。左端は鱒淵専務、右端は馬込理事

平成30年度公益社団法人栃木県看護協会 役員・職能委員・推薦委員並びに 平成31年度日本看護協会通常総会の 代議員及び予備代議員の公募について

平成30年度公益社団法人栃木県看護協会役員・職能委員・推薦委員並びに平成31年度日本看護協会通常総会の代議員及び予備代議員は、平成30年度の通常総会において選出されます。

この度、次年度（平成30年度）に改選される役員・委員並びに平成31年度日本看護協会通常総会の代議員及び予備代議員について公募を行いますので、立候補される方は次の要領で届け出てください。

なお、推薦していただいた方々につきましては、推薦委員会で協議の上、候補者として推薦を決定させていただきます。

1 公募する役員・推薦委員・代議員及び予備代議員は、下記のとおりです。

役職名	公募数
会長	1
副会長	1
助産師職能理事	1
看護師職能理事	1
理事	7
監事	1

職能委員	公募数
保健師職能	4
助産師職能	3
看護師職能	5

委員名	公募数
推薦委員	7

代議員・予備代議員	公募数
代議員	12
予備代議員	12

2 立候補基準

- ① 公益社団法人栃木県看護協会の目的、規約に沿って組織を強化発展させるよう実践できる方
- ② 栃木県看護協会の会員歴6年以上で協会組織を理解している方
- ③ 正会員5名以上の推薦を必要とする
- ④ 栃木県看護協会が定めた会議に出席できる方
- ⑤ 監事については、会員又は会員以外の者で、監査・会計などの学識経験者

3 届出先・届出期日

- ① 届出用紙は、栃木県看護協会ホームページからダウンロードするか、看護協会（経営管理課）にお問い合わせください。
- ② 届出先 〒320-8503 宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森4F
公益社団法人 栃木県看護協会 推薦委員長あて
- ③ 届出期日 平成29年12月8日（金）当日消印有効
- ④ 照会先等 電話 028-625-6141 <http://www.t-kango.or.jp>

研修報告



「クリティカル状況にある患者の家族に対する看護実践」を受講して

済生会宇都宮病院 平山里歌子

私は、救急救命センターに勤務し4年になります。今回この研修に参加したのは、自分自身の家族への関わり方を見直したいと思ったからです。事例を使い、モデルに照らしあわせて整理することは難しいと感じましたが、家族へどのように看護を提供できるのかあらためて考えることができました。研修の中で家族は「治療に対する代理意志決定を迫られている」ということを学び、私はこれまであまり深く考えずにいたことに気付きました。特にクリティカルな状況にある患者の場合、家族は衝

撃を受けた状況にいるため、説明されたことを十分に理解することが難しいと考えます。そのことを看護師は念頭におき、家族対応をしなければいけないとあらためて思いました。日頃、業務の中で家族と十分にコミュニケーションがとれていないと感じていました。今後は、家族と信頼関係が築けるようにコミュニケーションをとり、相手の気持ちを引き出せるような姿勢で接していきたいと思います。今回の学びを今後に生かしていきたいと思います。



「がん看護における緩和ケア」を受講して

芳賀赤十字病院 星 友紀子

緩和ケアに対する苦手意識を少しでもなくしたいと考え、研修の受講を決めました。研修では、緩和ケアが治療と同時に行われることや、精神的ケアの前にまず身体的苦痛の把握・軽減が必要だと分かりました。私にとっては新たな学びでした。問診・検査を通して身体的症状を把握し、薬物投与や非薬物ケアによって、それらを軽減させることで患者一人ひとりのその人らしさがみえてきます。その上で精神

的苦痛、社会的不安を緩和し、患者にとって最善の意志決定ができるよう支援していくことが必要であると学びました。医療者が良かれと思っただけで行ったことが、患者・家族にとって逆に不快感を与えることもあるという話が印象的でした。常に患者の価値観を尊重することが大切だと改めて意識しました。

今回の研修での学びを、これからの看護に生かしていきたいと思います。



「印象戦略セミナー・職場環境を楽しくするコミュニケーション術」を受講して

獨協医科大学病院 手塚 優希

印象戦略とは、価値と信頼を高め最少時間で最大の納得を得るプレゼン術であり、自分の印象をマネジメントする方法です。講義では、自分がどの立場や役割に関わるかを考え、自分の価値と信頼を高め相手に良い印象を与える方法を学びました。

戦術として、視覚・聴覚・言語の中で人は視覚情報が87%を占めているため、整容や表情で相手に与える印象が大きいことがわかりました。

看護師は、患者様やその家族、スタッフなど多くの人と関わり会話をするため、身だしなみを整え、その場面に応じた表情や話し方をするのが大切であると思います。

説明方法一つで信頼関係ができたり、逆に不安を与える可能性もあります。これからは、看護師として信頼と安心感を与えられるようなセルフイメージを持てる努力をしていきたいと思っています。



平成29年度 栃木県・大田原市防災訓練に参加して

国際医療福祉大学病院 坂主 靖崇



災害支援ナースとして訓練に参加させていただきました。実際に医師会の医師とともにSTART法による1次トリアージを行いました。傷病者役の方々が傷の化粧をしていて外傷の様子にリアリティーがあったことや、次々とトリアージタブに記載をして傷病者を色分けしていくことで、災害現場の様子を想像することができ、緊迫感を感じることもできました。今回の訓練で1次トリアージから救護所へ移動し、救急隊員やDMAT隊員と協力して医療機関へ搬送する流れを見ることができたためとても貴重な体験となりました。



研修申込「研修管理システム」の導入にあたってのお願い

研修のお申し込み方法の変更

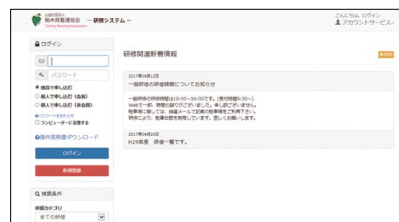
栃木県看護協会Webサイトからの研修の申し込みをすることができる新たなシステム「**研修管理システム**」を平成29年7月から導入しました。

施設での申し込みの場合は、事前登録が必要になります。栃木県看護協会ホームページ「様式ダウンロード」の「施設申し込み利用申請書」をご提出ください。

個人申込みの場合には、「研修管理ログイン画面」より新規登録をお願いします。

平成30年度以降については、「研修管理システム」Webシステムのみのお申し込みとなります。ご協力をよろしくお願いいたします。

栃木県看護協会ホームページ ▶▶ <http://www.t-kango.or.jp/>



会員の皆様へ (平成30年度継続申込書の提出にあたってのお願い)

H30年度継続のお知らせが、届いたら…?



・施設とりまとめ者が継続のお知らせを配付
※自分の名前が印字されているか確認



・封筒の中に入っている書類内容を確認し、簡単チェックを実施

不備や変更がある場合



必要箇所を記入

- 施設に所属する会員の方
記入した用紙を同封の封筒に入れて、施設の担当者へ提出
- 個人会員の方
記入した用紙を同封の封筒に入れ、切手を貼りポストへ投函

不備や変更がない場合



変更届の提出は不要!



お問い合わせ 栃木県看護協会 会員担当 ☎028-625-6141

< 医療安全対策推進委員会

平成29年11月19日(日)～25日(土)は、「**医療安全推進週間**」です!

「医療安全推進週間」は2001年、「患者の安全を守るための共同行動(PSA)」の一環としてスタートし、医療関係団体等での取り組みの推進を図り、この取り組みについて国民の理解や認識を深めていただくこと、行政機関、医療関係団体、医療機関、製造団体等はこの週間を中心として、医療安全向上のためシンポジウムを行っています。

皆さんの施設ではどのような医療安全推進の取り組みを企画していますか?

今回は、医療安全対策推進委員の施設でこれまでに実施された「医療安全推進週間」の取り組みをご紹介。他施設の取り組みを Let's シェアアリング!!

上都賀総合病院

いいね!

医療安全週間
上都賀総合病院

患者間違いに要注意!

患者確認は
患者に名前を
名乗ってもらう。
患者の名前は、フルネーム
で確認する。
リストバンド・ベットネーム
で確認する。

私たちは必ずやりまします!

毎朝「唱和」し患者誤認防止に務めましょう!
病院全体で誤認防止に向けた取り組みを実施しました。

JCHOうつ

JCHOうつ
医療安全推進週間

私たちは、朝のミーティングで
指差し唱和を行います!!
注射・点滴・内服・チューブの管理に
ついて、日替わりで唱和をします。

内服・外用と薬時	注射・点滴実施時
<ol style="list-style-type: none"> 患者名 投与目的は? 薬剤名は正しいか? (読声・唱和) 実施時期は正しいか? (食前・食後・食前・食後・食前・食後) 用量 経路(経口・経静脈から注入、吸入、外用) 副作用・観察事項はないか? 	<ol style="list-style-type: none"> 患者名 薬剤名 投与目的は正しいか? (読声・唱和) 実施時期は正しいか? (読声・唱和) 用量 経路(経静脈から注入、吸入、外用) 副作用・観察事項はないか?

6R確認
よし!

医療安全意識の
目録

地方独立行政法人 栃木県立がんセンター

いいね!

医療安全百人一首
2012年 医療安全推進週間
第8回医療の質・安全学会ベストプラクティス特別賞受賞

医療安全推進週間 栃木県立がんセンター企画

これ、全部、がんセンターの職員が考えたの? なるほど色々あるなあ

全職員参加!
日々の業務で感じたヒヤリ・ハットしたこと、気づき、提言、安全のために実践していることなどを投稿に表現・患者と共有!

446名から712首が寄せられました。日常の場面に落とし込んでいる医療安全の視点が可視化されました!

※皆さんの施設で『医療安全推進週間』医療安全向上の実践していきま

来年のニュースでは、ぜひ、皆さんの施設の取り組みも紹介させていただきます!



セーフティシェアリング > Vol.2

した。毎年度11月25日を含む1週間で、医療機関を目的に厚生労働省が設けているものです。ウムの開催、研修の実施など様々な取り組みを進

します。

S医療安全推進週間
わかるまで聞こう話そう伝えよう
a f e t y
11月19日(日)~25日(土)
いい医療に向かってGO

のみや病院

いいね!



自治医科大学附属病院

いいね!



佐野厚生総合病院

いいね!



も、
間』を中心に
ための取り組みを
しょう!

次回は、医療安全管理者養成研修の様をお伝えします。



ふれあい看護体験 2017



将来の夢「助産師」の仕事を体験して

体験先：済生会宇都宮病院

栃木県立今市高等学校 竹内 茉央

私は、助産師の体験をしたくてふれあい看護体験に参加をしました。目の前で助産師さんの仕事を見ることができてとても勉強になりました。産科を見学している中で学んだことは、楽しいことばかりではないことです。施設見学の中で分娩室を見ることができました。そこで新しい命が生まれたり、失われたりしていることが助産師さんの話をきいていてとてもリアルに感じました。いい所ばかりではなくつらい所もみることができて勉強になりました。

病院内の雰囲気もよく看護師さんたちも楽しそうに仕事をしていて、私も一緒に働きたいと思いました。ネットや本で得た知識よりも助産師さんたちから聞いた話はとても刺激的で、今でも忘れられません。自分も将来、助産師として働けるように頑張ります。一日ありがとうございました。

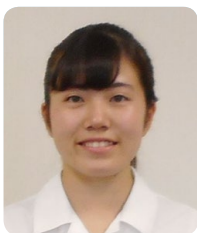


ふれあい看護体験を通じて

体験先：那須南病院

宇都宮文星女子高等学校 星 桃花

私の将来の夢は看護師になることです。そして先生方にすすめられ、平成29年7月26日に那須南病院のふれあい看護体験に参加させていただきました。初めての看護体験で当日何をやるのかなど緊張で一杯でした。そして病院に行くと参加者が皆3年生で、1年生は私だけで本当に戸惑ったのを覚えています。しかし先輩方も病院の方もやさしく色々なことを教えて下さりとても安心して体験できました。病院紹介では様々な機械や部屋を見せてもらいました。その他にも患者さんのサポートなどのお手伝いをさせていただいた時に、口から食べ物を久しぶりに食べるおじいさんのサポートをさせていただきました。その方は自分で口から食べ物を食べられた喜びで涙を流していました。その姿を見た瞬間、これが看護師という仕事のひとつのやりがいなのかと感じ、もっと強くあこがれをもちました。ぜひ次回も参加したいと思いました。



ふれあい看護体験に参加して

体験先：獨協医科大学日光医療センター

栃木県立鹿沼東高等学校 福田 佳奈

ふれあい看護体験に参加して、看護師の職業について深く知ることができました。看護部長さんから、看護師になって良かったこと大変だったことについてお話がありました。病状が回復し人工呼吸器がはずれ家族と一緒に喜んだエピソードがとても印象的でした。仕事で疲れて帰ってもまだ勉強をするという大変な職業ですが、患者さんが元気になり「ありがとう」と声をかけてくれることが何より励みになるのだと思いました。体験では、体を拭くお手伝いやシーツの交換などをしました。ただシーツを変えるのではなく、少しでもしわをなくし床ずれを予防することや、体の拭き方は強すぎず弱すぎずという力加減が難しく、戸惑う場面がありました。患者さんから「気持ちいいよ」と言ってもらい、最後には笑顔で「ありがとう」と言ってもらいました。患者さんと看護師さんが笑顔で話している姿を見て、私も患者さんに信頼される看護師になりたいと思いました。



こんな活動しています シリーズ 13

— 脳卒中ミニ講演会を開催して —

地方独立行政法人新小山市民病院
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 大出 悦子



脳卒中死亡率は厚生労働省の調べによると全国ワースト4位、都道府県別でみると栃木県は男性ワースト4位、女性ワースト2位になっています。このワーストランキングの要因として、初期対応の遅れや生活習慣上の課題があげられています。このような危機的状況で病院は、治療の場という概念だけでなく病気に対する啓発という視点も重視する必要があると感じました。

当院は栃木県の県南部に位置し、病床数300床の地域に根差した中核病院です。2016年1月に新病院となり脳卒中センターを設け、その中に栃木県初の脳卒中集中治療室（SCU）が併設されています。診療科は25科、2017年6月時点での平均外来患者数は329名です。外来のフロアは受診患者だけではなく、様々な人が数多く往来しています。その中でミニ講演会を行うことにより、より多くの人に脳卒中啓発活動ができるのではないかと考え「脳卒中ミニ講演会」を立ち上げ2016年5月から開始しています。

〈方法〉

日時：毎週水曜日

時間：10時30分～12時

担当：栄養管理部門 リハビリテーション部門 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

場所：1階患者支援センター内情報ラウンジ

〈内容と担当者〉

「脳卒中とは」・「脳卒中の予防」：脳卒中リハビリテーション看護認定看護師（毎週）

「減塩食について」：栄養士（第2週）

「効果的な運動について」：理学療法士（第3週）

「脳卒中の薬について」：薬剤師（月末の週）



栄養士



理学療法士



薬剤師

特徴は、4職種が専門性を生かして啓発活動に取り組んでいるところです。

ミニ講演会当日には、看護と全館放送で参加を呼び掛けています。アンケートによる聴講者の反応は「今晚から始めます」や「今後皆さんに広めていきます」など前向きな声が聞かれました。今後、聴講者を媒体として、効率の良い啓発活動に繋がっていくことを期待しています。





私の職場の好きなところ

シリーズ **48**

新上三川病院 稲川 珠美

笑顔あふれる職場



私の職場について紹介させていただきます。私は新上三川病院の回復期リハビリテーション病棟に勤務しています。

当院は、365日休まず社会復帰に向けたリハビリを行い、医師や看護師・セラピ

スト・社会福祉士等が連携し患者の自立へ向けた支援を行っています。そのため、患者の目標に向かって他職種で情報共有していく必要があります。親睦を図るために、当院では巨樹の会グループ病院ならではの忘年会やBBQ・地域行事に参加するなど楽しいイベントがたくさんあり、病棟内でも気軽に声をかけられる関係となっています。

院内研修では、全体研修の他、病棟ごとに日々の勉強会を行い、疾患や看護の振り返りが出来ます。院外研修にも積極的に参加出来、自

分のスキルアップに繋がっていると感じています。海外研修もあり、オーストラリアやドイツ・カンボジアなどグループ病院のスタッフと一緒に、諸外国における病院医療の実態及び医療施設・設備の現状を視察しています。一緒に研修することで、グループ病院間の交流も図れど共に情報交換の場となっています。そして研修後は、伝達講習会を開き学びを共有しています。

看護スタッフは10代から60代までの幅広い年齢層が在籍しています。時には、若者の恋話に花が咲いたり育児の相談をしたり、仕事のことは勿論プライベートな相談もできる上司や仲間が沢山いるので、私自身心の支えとなっています。

私の働く職場は、笑顔があふれ明るく活気に満ち溢れています。こんな素敵な病院で働けるなんて……この気持ちのゆとりが患者に寄り添える看護に繋がると信じ、今後も患者により良いチーム医療を提供できるよう頑張っていきたいと思います。



募集のお知らせ

♥「私の職場の好きなところ」の原稿を募集しています。

〒320-8503 宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森4F 栃木県看護協会 広報委員会宛

委員の変更

看護とちぎ91号P7に掲載しました「平成29年度 公益社団法人栃木県看護協会 役員・委員名簿」に変更がございましたので訂正させていただきます。

看護大会準備委員会

変更前 永澤 恭子 栃木県立衛生福祉大学校 → **変更後** 東 裕里子 栃木県立衛生福祉大学校

編集後記

Jアラートが鳴り響き、不安な日々を過ごし、日頃の備えの大切さを実感しているこの頃です。(大塚)